



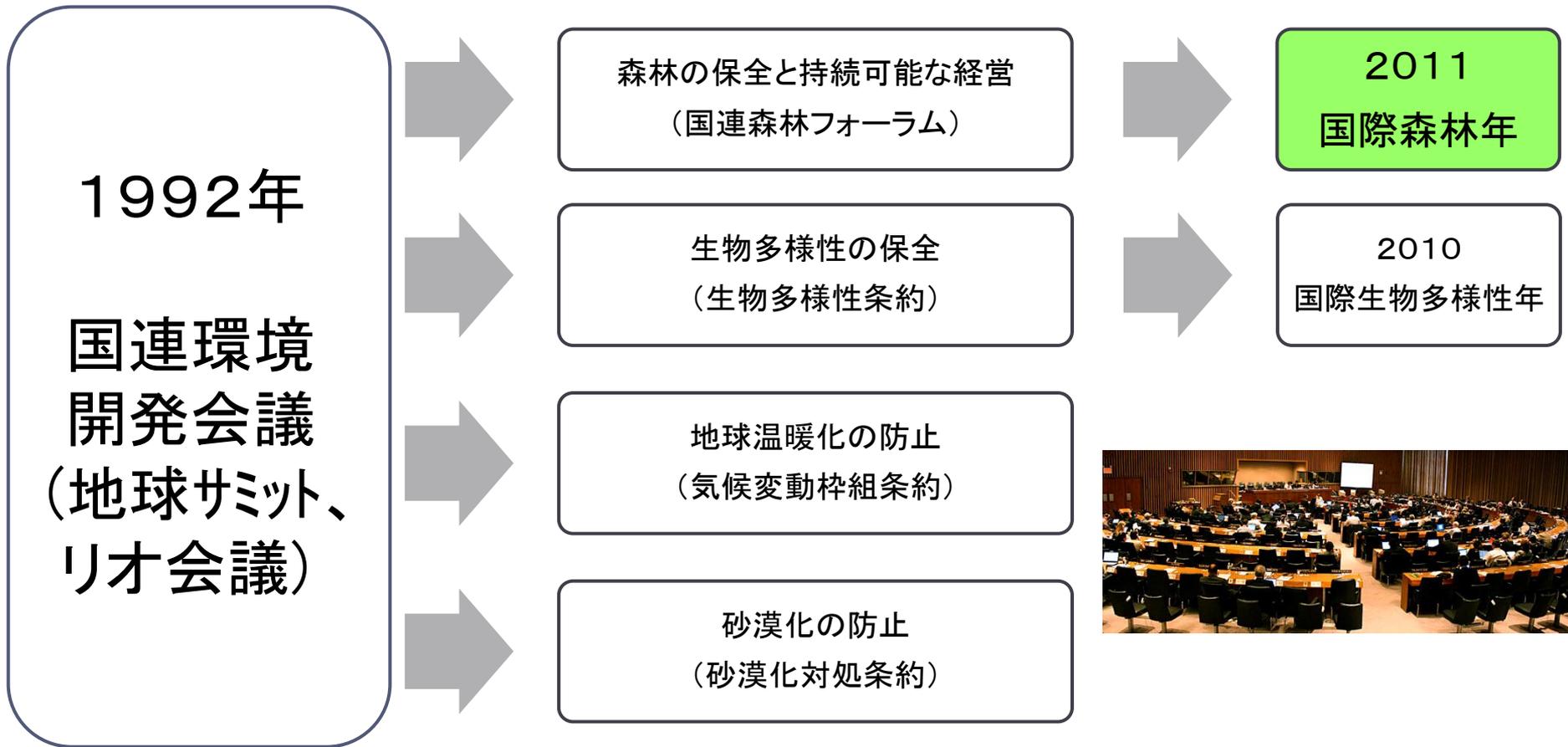
2011・国際森林年

# 2011 国際森林年のねらい

平成23年6月 林野庁

# 国際森林年の位置づけ

- ▶ 国際森林年は、国連のもとで行われる活動。





2011・国際森林年

# 国際森林年のロゴマーク

- ▶ 2006年の国連総会において、「森林に対する世界の市民の参加と理解」を目的として2011年を国際森林年とすることを決定。
- ▶ ロゴマークは「Forests for People(人々のための森林)」というテーマを伝えるもの。
- ▶ 世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割を称え、森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザイン。



**INTERNATIONAL YEAR  
OF FORESTS • 2011**



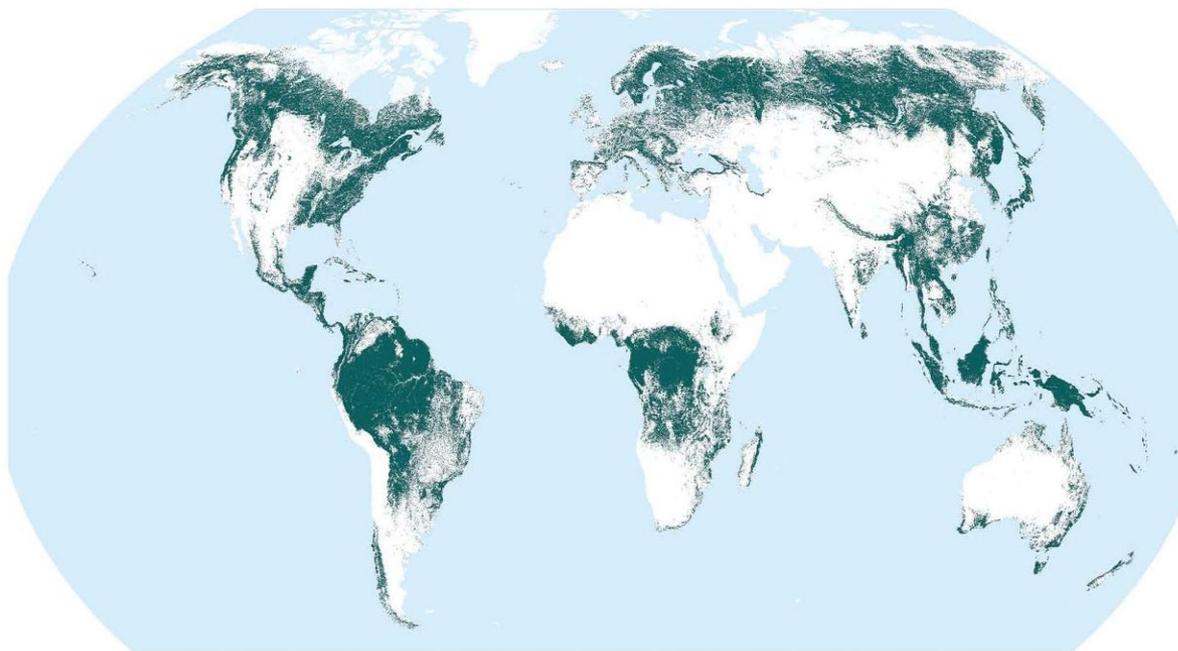
2011・国際森林年

世界では



2011・国際森林年

# 世界の森林を巡る状況



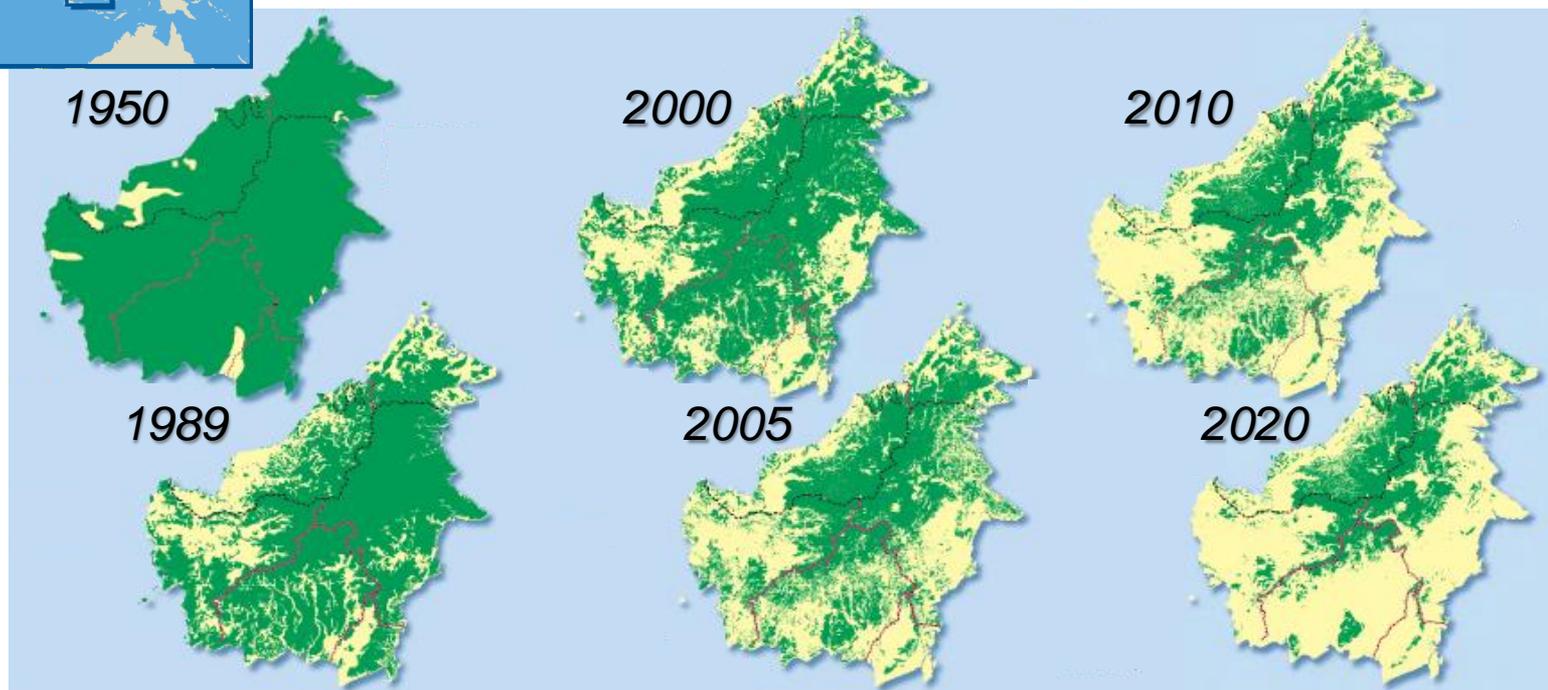
- ▶ 森林は世界の土地面積の約3割を占める。  
(1700年代には約5割との推定)
- ▶ 世界の森林は1兆トン以上の炭素を貯蔵し、世界の二酸化炭素排出量の約2割は森林減少に由来。

資料:FAO世界森林資源評価2010



2011・国際森林年

# ボルネオ島での森林減少

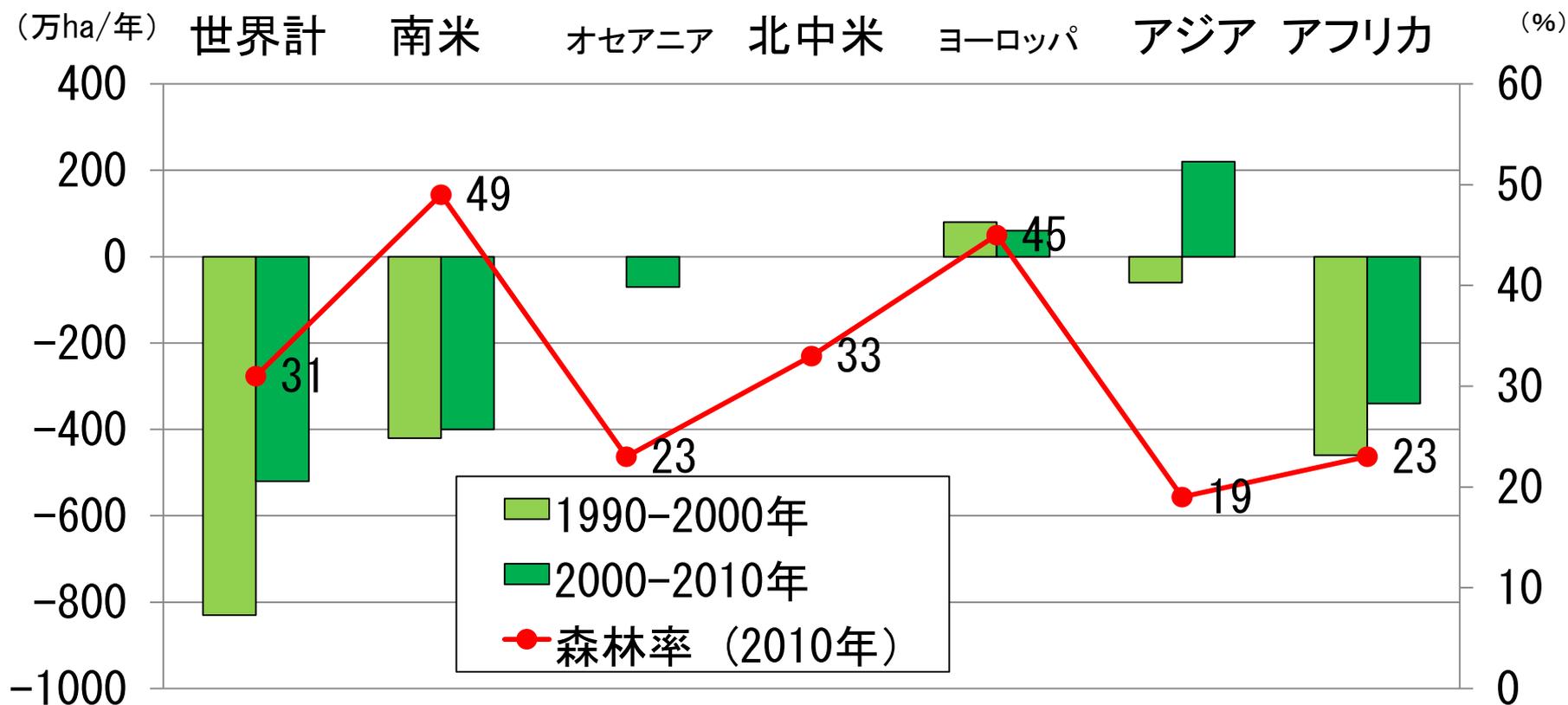


出典: WWF Germany



2011・国際森林年

# 世界の森林面積変化と森林率（地域別）



資料:FAO「世界森林資源評価 2010」

1990年～2010年の間の世界の森林減少は、我が国の国土の約4倍



2011・国際森林年

我が国では

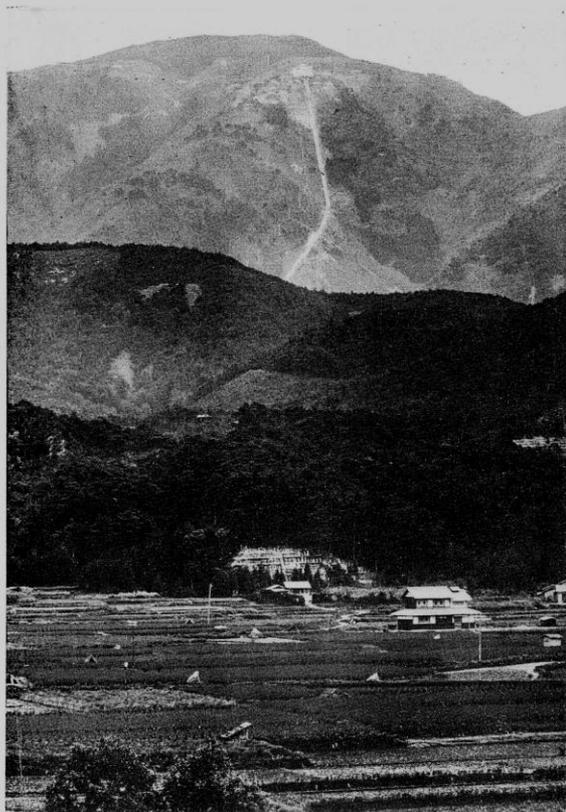


2011・国際森林年

# 昭和初期と現在の比叡山

## 叡山電気鐵道鋼索線

山本和七著



第1圖 岩倉村より見たる比叡山



# 滋賀県野洲市



2011・国際森林年



(戦前)

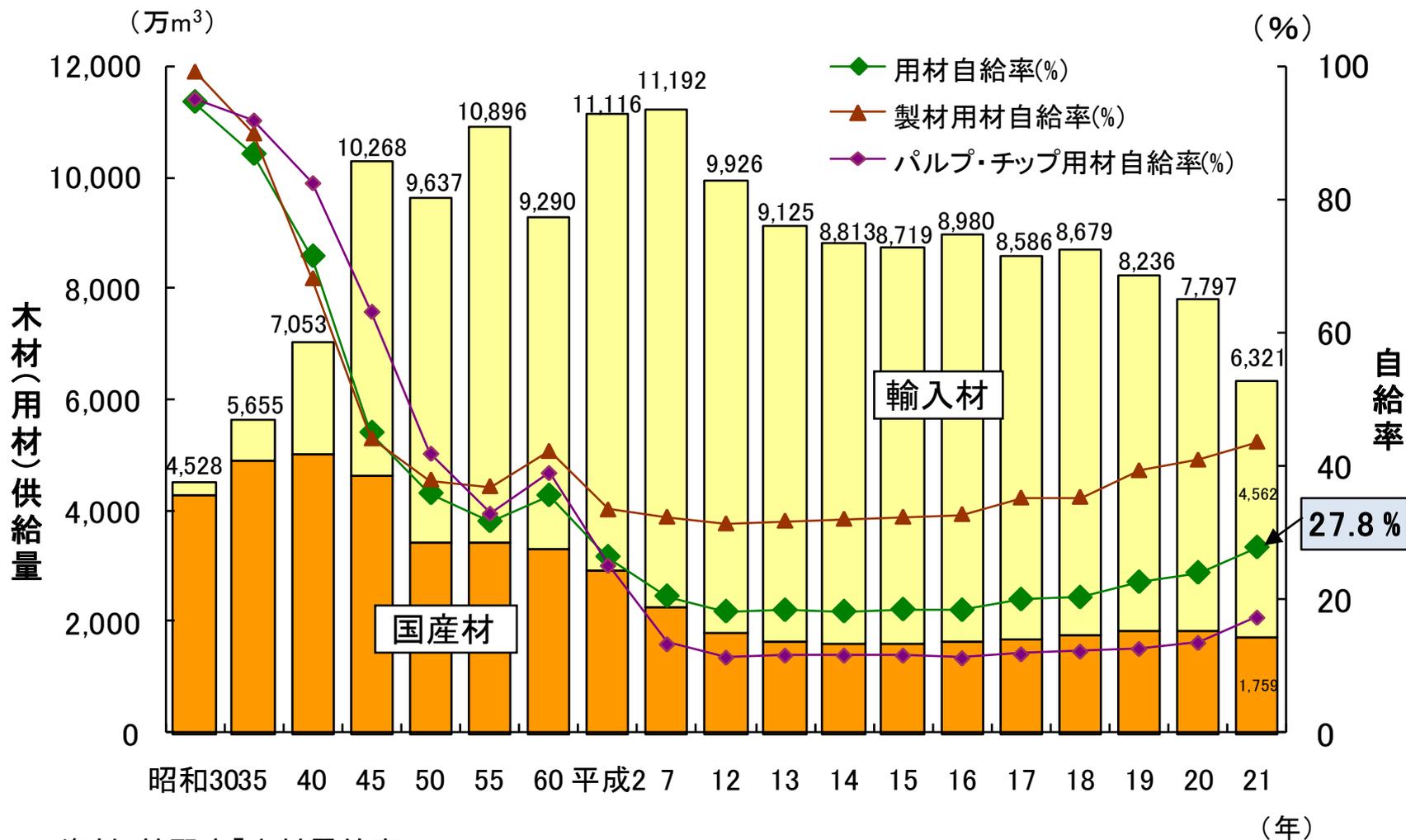


(2009年)



2011・国際森林年

# 木材（用材）の供給量の推移

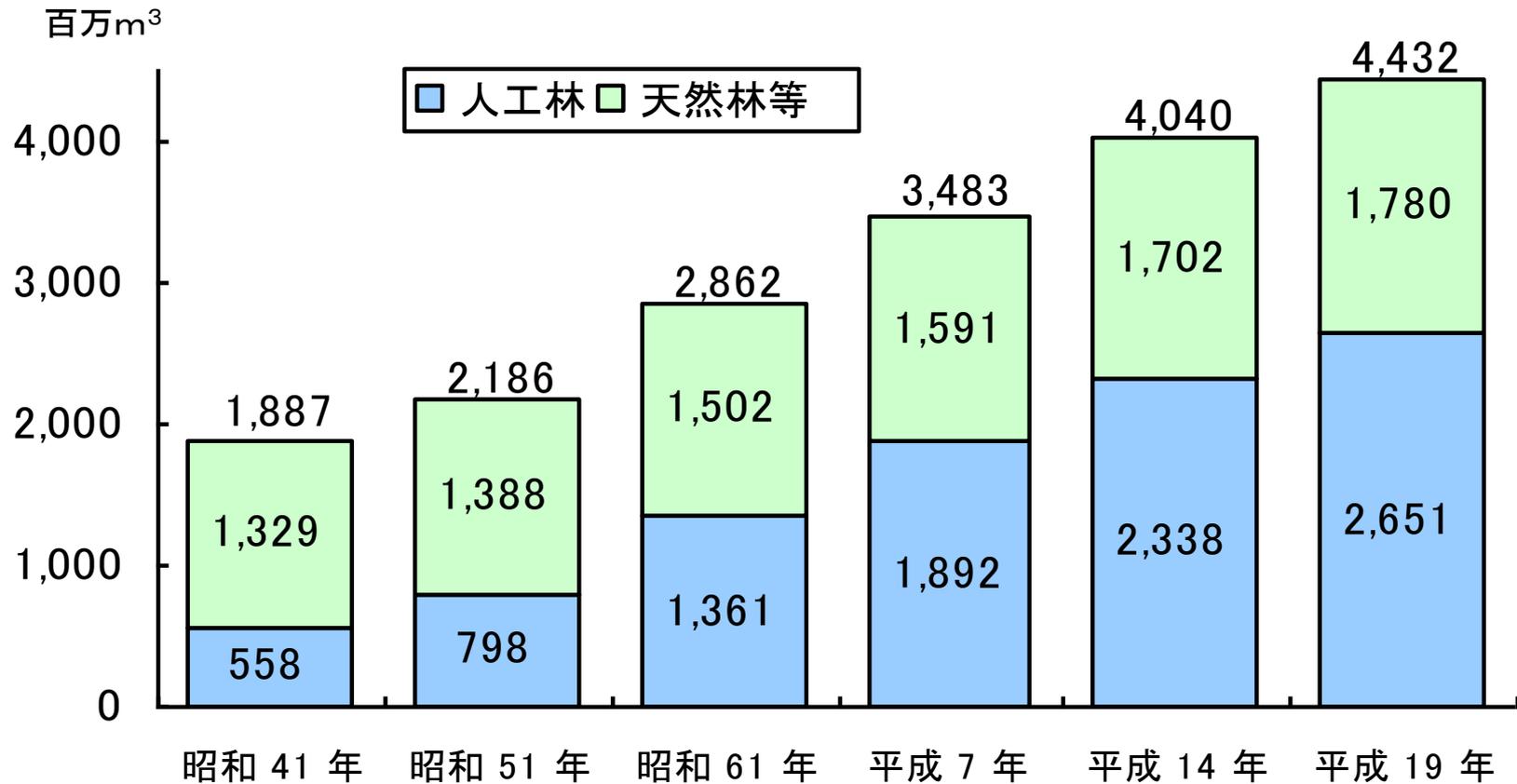


資料: 林野庁「木材需給表」



2011・国際森林年

# 我が国の森林資源の推移

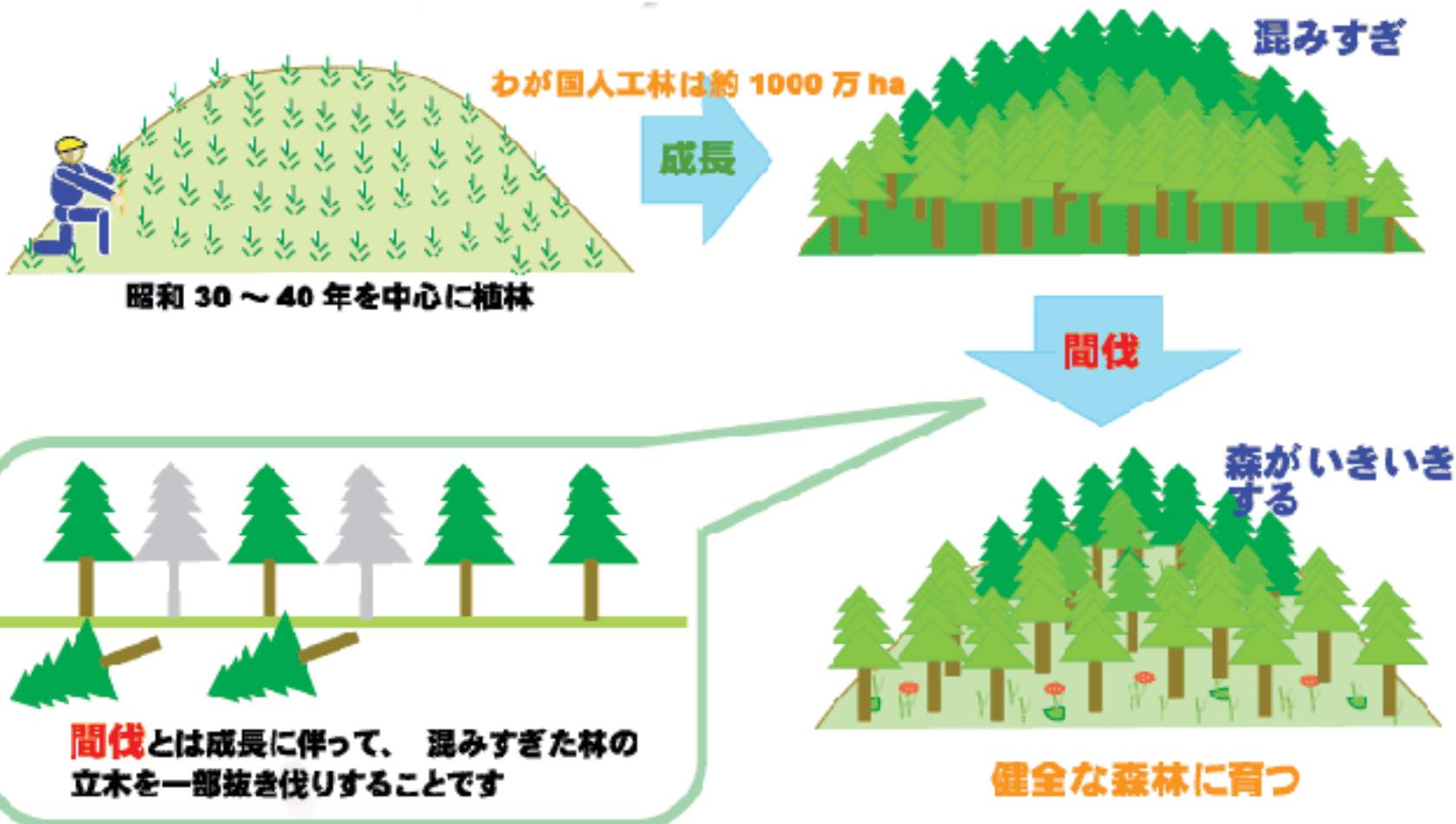


資料: 林野庁業務資料



2011・国際森林年

# 我が国の資源状況と間伐の必要性





2011・国際森林年

間伐は、成長の過程で過密となった立木の一部を抜き伐りする作業であり、成長促進と林業収入に寄与。

公益的機能の面では、

- ①風雪害や病虫害に強い健全な森林を作り
- ②地表の浸食や流失を抑制し、
- ③多様な動植物の生育・生息を可能とする。



# 消費で支える林業：木材利用の推進①

- ▶ 茂木町立茂木中学校  
（栃木県）の木造校舎
- ▶ 地元茂木町町有林のスギ・ヒノキ間伐材を使用



(参考) インフルエンザによる  
学級閉鎖率の違い

木造校舎：2%

内装木質造校舎：2%

RC造校舎：6%

(平成15年、愛知教育大学  
橘田紘洋名誉教授)



## 消費で支える林業：木材利用の推進②

- ▶ オホーツクはまなす牧場のカラマツ造り育成牛舎（北海道紋別市）
- ▶ 鉄骨牛舎に比べ、吸音性、耐久性、耐腐食性などに優れ、悪臭やハエの発生が少ない。





2011・国際森林年

# 国際森林年における普及啓発

# 国内における「国際森林年」の活動戦略案

- ▶ 国際森林年国内委員会を活動の中心として、豊かな森林を守り育てていくこと、またそのために国民一人一人が具体的に行動することが重要であることへの理解を深める。
- ▶ 我が国の林業を再生し、美しい森林づくりを推進するはずみになるよう、全国各地でのイベントも活用しながら効果的な取組を展開する。



植樹祭・育樹祭



美しい森林づくり



木づかい運動



途上国支援



2011・国際森林年

# 国際森林年国内委員会名簿

赤池学(ユニバーサルデザイン総合研究所所長)

天野礼子(作家)

飯塚昌男(日本林業協会会長)

出井伸之(美しい森林づくり全国推進会議代表)

井上篤博(セイホク株式会社代表取締役社長)

内山斉(日本新聞協会会長)

大久保尚武(経団連自然保護協議会会長)

草野満代(フリーアナウンサー)

坂本龍一(音楽家、モアトウリーズ代表)

佐々木毅(国土緑化推進機構理事長)

C. W. ニコル(C. W. ニコル・アフアの森財団理事長)

多田欣一(岩手県住田町長)

仁坂吉伸(和歌山県知事)

沼田早苗(写真家)

速水亨(速水林業代表取締役社長)

広瀬道貞(日本民間放送連盟会長)

宝月岱造(日本森林学会会長)

三村明夫(日本プロジェクト産業協議会会長)

宮林茂幸(東京農業大学教授)

養老孟司(日本に健全な森をつくり直す委員会委員長)

(オブザーバー)

外務省、環境省、観光庁



2011・国際森林年

# 国際森林年における取組スケジュール

12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

国際生物多様性年  
とのブリッジングセレモニー  
(石川県、12/18-19)

第9回UNFF会合(ニューヨーク、1/24-2/4)  
ハイレベル対話(2/2-2/3)  
・国際森林年の立ち上げ  
・国際森林映画祭の受賞作品発表 等

第66回国連総会  
(ニューヨーク、9月)  
・活動状況の報告

国際森林年  
クロージングセレモニー  
(場所等未定)

国内委員会の設置

国内委員会の運営・普及事業の実施  
(ウェブサイトの運営、企業等との連携等)

第1回  
国内委員会

第2回  
国内委員会

第3回  
国内委員会

第4回  
国内委員会

民間企業等との連携

4/15~5/14  
みどりの月間

地方と連携した記念行事

10/1~10/31  
木づかい推進月間

~~みどりの  
感謝祭~~

全国植樹祭  
和歌山県

国際森林年記念  
会議の開催

全国育樹祭  
奈良県

【凡例】

国際森林年において新たに行う取組

既存の事業の活用による国際森林年への取組



2011・国際森林年

## 具体的取組の実施状況



2011・国際森林年

## (実績) 第1回国際森林年国内委員会

- ▶ 12月16日、篠原副大臣の出席を得て、第1回国際森林年国内委員会を開催。
- ▶ 佐々木毅座長をはじめ、広瀬道貞、出井伸之、CWニコル、養老孟司、草野満代ほかの委員が出席。
- ▶ 国際森林年のテーマを「森を歩く」と決定。





# (実績) 国際生物多様性年と国際森林年 とのブリッジングセレモニー



2011・国際森林年

- ▶ 12月18日、石川県金沢市で国際的な橋渡しの式典を実施。
- ▶ 鹿野農林水産大臣、松本環境大臣、UNFFマツカルパイン事務局長、CBDジョグラフィ事務局長ほかが出席。
- ▶ 国内委員会より、飯塚昌男委員及び沼田早苗委員が参加。



# (実績) 国連森林フォーラム (UNFF) 閣僚級会合



- ▶ 2月2日～3日、米国ニューヨークの国連本部において、UNFF閣僚級会合が開催。
- ▶ 我が国主催のサイドイベント(約20カ国、60名参加)等で緑化運動をはじめ国際森林年の取組を説明。
- ▶ 国際森林映画祭の受賞作品発表。



地球のために木を植える子ども達の  
イニシアティブ のプレゼン風景

## (実績) ログマーク使用の簡素化

- ▶ ログマークの使用手続きは国連森林フォーラム (UNFF) へ英語でメールと申請書を送付する必要があった。
- ▶ 我が国ではUNFFとの合意により、フォレスト・サポーターズのウェブサイト上でログマークをダウンロードできる仕組みを構築。
- ▶ 4月12日現在、200の企業、NPO等が利用。



2011・国際森林年



2011・国際森林年

**「国際森林年」ログマークの使用登録申請**

「フォレスト・サポーターズ」の登録団体は、「国際森林年」の活動宣言をしていたら、ログマークをご使用いただけます。

フォレスト・サポーターズにご登録済みの方

↓

**ログインして使用申請**

フォレスト・サポーターズにご登録がまだの方

↓

**法人(団体)登録して使用申請**

※申請いただいた活動宣言は2月中旬のキックオフイベントの際、このページにて公開いたします。  
(キックオフイベントの詳細はフォレスト・サポーターズWEBサイト上でご紹介いたします)

# (実績) 元旦の各新聞での露出

(この他、各地方紙でも特集記事の実績あり)



2011・国際森林年

◆住友林業

森林のちからを未来のちからに。

2011年、国際森林年を迎えます。今年も森林を元気に育てる活動がますます盛んになるとともに、森林の恵みを生かして、環境にやさしい社会を実現するための活動も進んでいます。また、森林の恵みを生かして、環境にやさしい社会を実現するための活動も進んでいます。また、森林の恵みを生かして、環境にやさしい社会を実現するための活動も進んでいます。

ウェブ上で「国際森林年」を体験してください。

住友林業による企業広告  
1月1日付け主要各紙

2011年は「国際森林年」  
森づくりは「入づくり」 JTが「北の大地」で

日本たばこ産業(JT)は「国際森林年」の今年、北海道管内の森林づくりに取り組む。【北に】「森づくり」活動などを通じて、いっしょに自然環境の保全に努めたいと決意を表明している。このほか、北海道管内の森林づくりに取り組む。【北に】「森づくり」活動などを通じて、いっしょに自然環境の保全に努めたいと決意を表明している。

北海道積丹に「水源の森」

「国際森林年」の今年、北海道管内の森林づくりに取り組む。【北に】「森づくり」活動などを通じて、いっしょに自然環境の保全に努めたいと決意を表明している。

海のそばへぐんむ  
自然環境の保全

「国際森林年」の今年、北海道管内の森林づくりに取り組む。【北に】「森づくり」活動などを通じて、いっしょに自然環境の保全に努めたいと決意を表明している。

日本たばこによる広告記事  
1月1日付け毎日新聞



2011・国際森林年

# (実績) ログマーク使用の事例



水が育む森、森が育む水。

広告  
企画・制作 毎日新聞社広告局

目標 = 森が育む地下水の量 > 工場で使用する地下水の量

はるか遠い昔から、人は水の恵みを受けて生きてきました。豊かな水や緑におおわれた地球は、かけがえない奇跡の星です。地球が生まれ、最初の雨がふり、海ができ、最初の生命が誕生する。やがて地上には森が生まれ、その森が豊かで美しい水を育んできました。サントリーは、この水を育む森を守り、未来の世代のために残していくために全国で「天然水の森」活動に着手。工場で使う地下水の水脈を見極め、専門家とともに水源の森に分け入り、「水のサステナビリティ(持続可能性)」を実現するための整備計画を立案しています。今整備している森に水がしみ込み、たくわえられ、ゆっくりと地下を流れ工場の地下深くにたどりつくのは数10年後かもしれません。きっと、その水を使ってつくった飲料を飲むのは、皆さんの子どもたちや、あるいは、そのまた子どもたちかもしれません。

サントリーの「天然水の森」も、10年、50年、100年後を考えて進めています。元気な森を育て、豊かな水を育む「水源涵養活動」は、これからも、水とともに生きる企業として社会と共存していくためには、欠かすことのできない活動なのです。

持続可能な未来をつくるために、サントリーは多くの人の力をかりて自然から学んでいこうと思います。

さらに詳しく知りたい方はサントリーのホームページにアクセスください。

サントリー天然水の森  検索

水と生きる SUNTORY



2011・国際森林年

サントリーによる企業広告  
2月4日付け毎日新聞







2011・国際森林年

# (実績) 国際森林年特集記事の事例

## 国際森林年広告特集



### 2011・国際森林年

今年「国際森林年」である。テーマは「Forests for People(人々のための森林)」世界中の森林の持続可能な経営と保全の重要性を広く認識してもらうことを目的として、各国で様々な取り組みが展開される。日本では「森を歩く」というテーマのもと、国土緑化推進機構や美しい森林づくり全国推進会議が協力し、森林の保護や育成、木材についての正しい理解促進などを目的とした国民あがりの活動が展開される。「森林・林業再生プラン」の実施元年でもある本年は、国民一人ひとりの意識の高まりが期待される。

「森を歩く」が日本のテーマ

手紙は木からつくられる——日本郵政(JP)にとって紙は事業に欠かせない大切なもの。そんなJPグループすべての紙をこめて2008年からスタートしたのが「JPの森づくり運動」だ。全国ネットワークを生かして、役員、社員がボランティアで植樹や育林に取り組んでいる。その1つが千葉県君津市にある「久留米ドングリの森」。08年からNPO法人ドングリの会の協力も得て植樹をスタート。今年

### 「JPの森づくり運動」



までの3年間で約10ヘクタールに植樹を進める計画だ。NPO法人「子どもの森づくり推進ネットワーク」が進める運動にも賛同し、全国の郵便局などが支援活動を行っている。幼稚園・保育園の子どもたちに、森づくりの体験を通して、自然の大切さを学んでもらおうという活動で、全国の都道府県に各1箇所のネットワークを完成している。

さらに全国のJPグループの拠点では、自治体などと協働した地域の森づくりや育林活動を継続的に進めている。

2011年は「国際森林年」。森林の大切さと、木を生かした暮らしへの理解促進を目指した取り組みが世界中で展開される。日本は世界屈指の森林国でありながら、森林の保全、利用、林業経営という点では欧州など他国を見習う点が多い。加えて日本は「京都議定書」で約束した二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減目標6%のうちの約3分の2にあたる3.8%を国内の森林で吸収することとしている。森林と木を活用した生活への議論を深め、実践していくポイントはどこにあるのか、「美しい森林(もり)づくり全国推進会議」代表の出井伸之氏に、森林と自然に寄せる思いを聞いた。

### 森を育てるには木の利用から

——日本の森林率は67%、数字は、世界有数の森林国です。木を育てておきますが、日本の森林の「もり」問題も、戦後復興時に比べて、森林の減少が懸念されています。戦後復興時に比べて、森林の減少が懸念されています。戦後復興時に比べて、森林の減少が懸念されています。

## 日本の森林を元気に

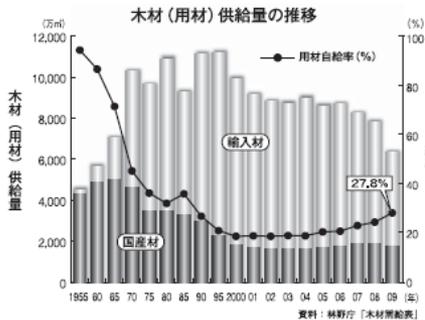
出井伸之氏が言うが、第2次産業やサービス産業が伸びたおかげで、木材の需要が伸びた。木材の需要が伸びた。木材の需要が伸びた。

豊かな資源を生かす 林業再生「元年」

消費への求めも切実に。木材の需要が伸びた。木材の需要が伸びた。木材の需要が伸びた。

再造林は、2006年までで約1億本、2009年までで約1億本、2009年までで約1億本、2009年までで約1億本。

木材(用材)供給量の推移。輸入材と国産材の供給量の推移。輸入材と国産材の供給量の推移。



出井伸之氏

「美しい森林づくり推進国民運動」の推進組織として2007年に発足。事務局として設立された「美しい森林(もり)づくり全国推進会議」代表。木を植え、育て、使うという循環を重視し、元気に森づくりのための情報発信や交流促進を図っている。1995年に「ニュー・社長就任後、会長兼グループCEOなどを歴任。現在、クワンタムリープ代表取締役を務める。



企画・制作 日本経済新聞社クロスメディア営業局

# (実績) ローソンによる国際森林年と 緑の募金の呼びかけ

(※東北関東大震災後は震災募金へ変更)



2011・国際森林年

- ▶ 国際森林年の幕開けを記念し、全国約1万店のローソングループ店頭でスヌーピーが国際森林年と緑の募金を呼びかけ。
- ▶ ローソン緑の募金の実績は、累計約30億円。
- ▶ 支援した森林整備活動は約2,300箇所。
- ▶ 植樹や間伐の手入れを行った本数は約1,425万本。



# (実績) 住友林業による「サステナブル フォレスト ギャラリー 2011」



- ▶ 1月15日～16日、住友林業は有楽町駅前ドーム型展示を利用した普及啓発イベントを開催。
- ▶ 15日の国際森林年記念ステージには鹿野大臣、市川社長、草野満代さんが出席し、木材利用の意義などについて説明。
- ▶ 来場者数は約5000名。



# (実績) オーストリアシンポジウム 「森からのエネルギー創出」



- ▶ 2月14日(東京)、2月15日(札幌)、オーストリア大使館主催のシンポジウムが開催(来場者数は併せて約530名)。
- ▶ 森林技術、バイオマス技術、木質建材に関する講演に加え、出展オーストリア企業15社の製品・技術を紹介。
- ▶ シンポジウム後に個別商談会も開催。





2011・国際森林年

# (実績) ライブドリアード2011

- ▶ 2月14日に木材会館(新木場)で開催された、パネルディスカッション、演劇、音楽を組み合わせた国際森林年記念ライブ。
- ▶ テーマは「木と共に暮らすライフ提案」。
- ▶ 参加者総数は324名。  
主演: 弥生さん  
主催: (社)創造再生研究所  
後援: 林野庁ほか



2月15日付け東京新聞

# (実績) 「美しい森林づくり」企業・NPO等交流フォーラム



2011・国際森林年

- ▶ 2月14日、国連大学において、田名部大臣政務官の出席により記念フォーラムを開催。
- ▶ 国連事務総長のビデオレター、大久保尚武経団連自然保護協会会長及びCWニコル氏の講演等。
- ▶ 「フォレスト・サポーターズ」及び「生物多様性民間参画パートナーシップ」が協働宣言に調印。



日本経団連自然保護基金  
Keidanren Nature Conservation Fund  
経団連自然保護協議会  
Keidanren Committee on Nature Conservation



社団法人  
**国土緑化推進機構**  
National Land Afforestation Promotion Organization

## (実績) 東京マラソン2011への参加

- ▶ 2月27日、農林水産省及び国土交通省等の職員約20名が、「国際森林年タスキ」を着用して東京マラソンに参加。
- ▶ キャプテンは観光庁の溝畑長官であり、スポーツ観光の振興を併せてアピール。
- ▶ NHK朝のニュースを含め一部メディアで露出。



2月25日の出陣式



# (実績) 持続可能な森林経営の挑戦に関する国際セミナー



- ▶ 3月8日～10日、三田共用会議所において、各国政府、国際機関、民間企業、NGO等から専門家を招へいし開催。
- ▶ 持続可能な森林経営のための政策手段について、国内外の取組を討議。
- ▶ 国連森林フォーラム(UNFF)活動の一部として、結果を報告。



# (実績) 国際森林年子ども大使 ミュージカル「葉っぱのフレディ」



- ▶ 「お米大使」の小林幸子さん、「お魚大使」のさかなクンに続き、3月8日、「葉っぱのフレディ」の子役20名を国際森林年子ども大使に任命。
- ▶ ミュージカルは生命の尊さと循環をテーマにした作品であり、日野原重明先生の原案。
- ▶ 3月9日付け朝日新聞等で報道。



# (実績) 観光庁による 「魅力ある日本のおみやげコンテスト」

- ▶ 外国の方々からみて魅力的なおみやげを選定することにより、我が国の地域ブランドを高めるねらいのコンテスト。
- ▶ 本年度に限り、国産材を活用した「国際森林年特別賞」を設定。
- ▶ 3月9日(水)、「葉っぱのフレディ」も参加し、羽田空港にて授賞式を開催。



Japan. Endless Discovery.

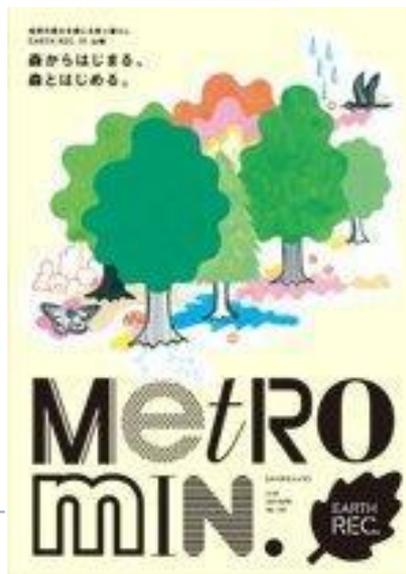
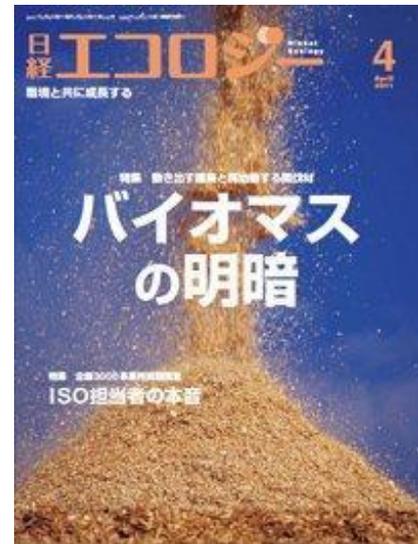




2011・国際森林年

# (実績) 雑誌・インターネットでの露出

- ▶ 雑誌「環境会議」、「日経エコロジー」、「メトロミニッツ」、「サライ」において、国際森林年や森林・林業に関する特集記事が掲載。
- ▶ 雑誌「ecomom」のウェブサイトでは、国際森林年特設ページが開設。



## (実施中) 国際森林年記念分収造林の実施

- ▶ 3月3日、全国の国有林野において国際森林年記念分収造林を実施することを各森林管理局へ通知
- ▶ 平成23年度から25年度までの3年間実施。
- ▶ これにより国民参加の森林づくりを促進。



通常の方収割合  
契約者7割、国3割



国際森林年記念分収造林  
契約者8割、国2割

## (実績) TOUCH WOODケータイ

- ▶ 四万十ヒノキの間伐材をボディに利用した携帯電話「TOUCH WOOD」が、3月28日より限定15,000台発売。
- ▶ ボディの間伐材は、一般社団法人「more trees」の森から提供。

※*more***Trees**®

音楽家の坂本龍一氏が代表。  
日本において人工林の間伐促進を  
実践している環境団体。



(写真:NTTドコモ社)

# (実績) 第2回国際森林年国内委員会 ～復旧・復興に向けた主な意見～



- ▶ 国産材で合板を製造することで、地元還元ができ復興に寄与できる。
- ▶ 三陸の海岸沿いに企業支援で緑の回廊をつくれないうか。
- ▶ 避難者の生活を改善するため、木造の仮設住宅の整備に取り組むべき。
- ▶ 復興のグランドビジョンをつくり、その中で森はどうあるべきか考えるべき。
- ▶ 都市部と地方部が非常時に備えて、お互いに資材(例えば、仮設住宅用木材など)を備蓄しておくべき。
- ▶ 林野庁が被災者を取り込む雇用の場をつくるべき。また、各都道府県に仮設住宅キットを備蓄しておくべき。



2011・国際森林年

# (実施中) 「いのちの森づくりリレー植樹」

- ▶ 国際森林年にちなみ、宮脇昭名誉教授の指導によるリレー植樹の計画。
- ▶ 台風による風倒被害跡地への植樹など防災に力点を置いた植樹を含む。
- ▶ 東京都豊島区(5月22日)、白神山地(7月2日)、愛知県豊橋市(7月10日)など全国で12か所。

沿岸にコンクリートの堤を築くだけでなく 緑の防波堤を



**防災を力点に**  
宮脇昭・横浜国立大名誉教授が指導

国際森林年にちなみ、日本ではじめての「いのちの森づくりリレー植樹」が、宮脇昭名誉教授の指導の下、全国各地で実施されている。この活動は、防災に力点を置いた植樹を含む。宮脇教授は、東日本大震災で被災した沿岸部や、台風被害を受けた地域で、緑の防波堤を築くことで、防災に力点を置いた植樹を推進している。また、被災地での植樹活動を通じて、被災者の心を癒やし、防災意識を高めることを目指している。

植樹名称(仮称)	植樹予定地	開催予定日
①いのちの森づくり植樹	静岡県掛川市倉賀地区	4月30日
②いのちの森「植樹-グリーン」としま再生プロジェクト	東京都豊島区南長崎はらっぱ公園	5月22日
③千年の森づくり植樹	北海道小樽市船上山	6月28日
④白神山地植樹フェスティバル 赤石川	青森県野付町赤石川上流域	7月2日
⑤樹の国「いのちの森づくり」植樹	愛知県豊橋市石巻山	7月10日
⑥樹の森づくり植樹	山梨県北杜市の清里高原	7月24日
⑦行田市親子植樹	埼玉県行田市市内	9月4日
⑧川内村「いのちの森づくり」植樹	福島県川内村立川内小学校	9月25日
⑨東生の森づくり(正式名称)	熊本県大津由エコパーク	11月20日
⑩国際森林年記念登壇植樹	長崎県島原市おしが谷ふるさとの森林づくり	今秋

**人命守る「リレー植樹」**

(3月30日付け 毎日新聞)

高橋公一(左)と宮脇昭(右)が、被災地での植樹活動の様子を撮影している。高橋氏は、被災地での植樹活動を通じて、被災者の心を癒やし、防災意識を高めることを目指している。

「いのちの森づくり」植樹は、被災地での植樹活動を通じて、被災者の心を癒やし、防災意識を高めることを目指している。また、被災地での植樹活動を通じて、被災者の心を癒やし、防災意識を高めることを目指している。

★キャラクターグッズ完成 リレー植樹で、各植樹をつなぐのは、メダカに似せた移植ゴテの上に宮脇さんが仁王立ちする姿をあしらったキャラクターグッズ。高橋公一(左)と宮脇昭(右)が、被災地での植樹活動の様子を撮影している。

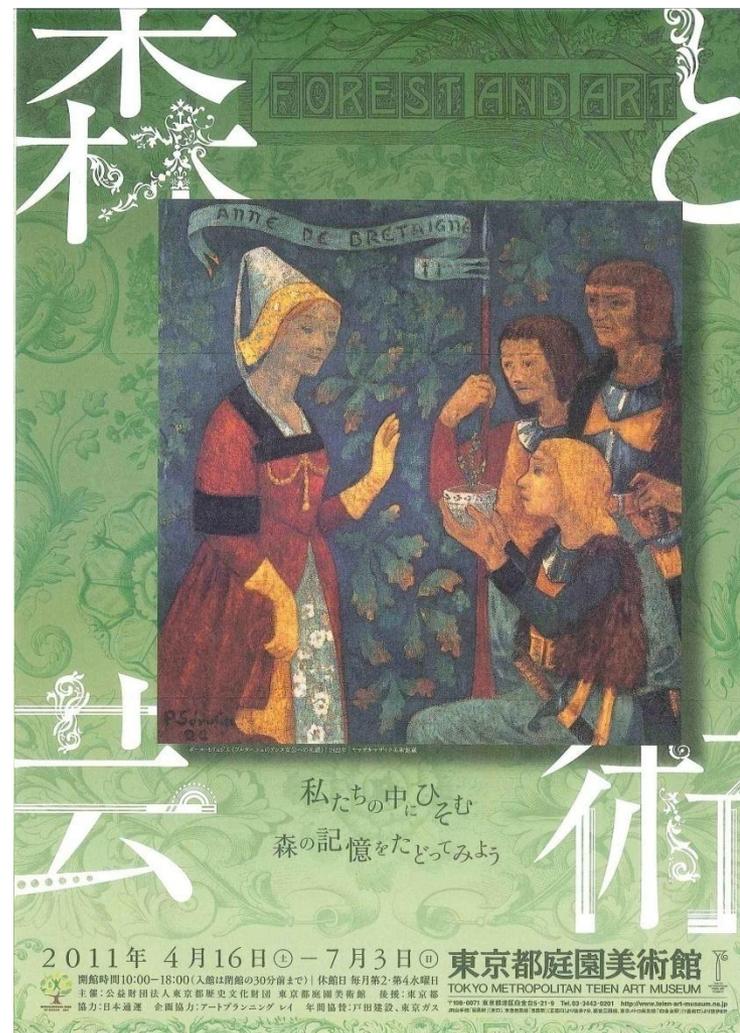
写真:長さ約60cm、高さ20cmの発泡スチロール植樹器。大阪デザイナー専門学校で特殊メークを教える寺川万理子さんが、2カ月がかりで仕上げた。子どもが植樹を楽しめるよう願いが込められている。



2011・国際森林年

# (実施中) 「森と芸術」 展示会

- ▶ 4月16日～7月3日、東京都庭園美術館において「森と芸術」の企画展示が開催。
- ▶ 「私たちの中にひそむ森の記憶をたどってみよう」がテーマ。



## (実施中) 国内委員会事務局による特別協力

- ▶ 4月より委託事業「国際森林年推進事業」により国際森林年国内委員会事務局を立ち上げ。
- ▶ 全国の様々なイベントに対して、のぼり等の広報媒体の供与をはじめ、ホームページによるPRの協力などを行い、国際森林年への認知を向上。

4月23日～24日のアースデー東京  
(CWニコル・アフアの森のブース)



4月24日の「林試の森フェスタ」



## (実績) 日本中央競馬会との連携

- ▶ 4月23日(土)、東京競馬場(府中市)において、国際森林年記念レースとして「新緑賞」を開催。
- ▶ 優勝は3番人気のショウナンバーズ号(牡3歳美浦・国枝厩舎 北村宏司騎手騎乗)。



## (実績) 政府広報ラジオ番組

- ▶ 政府広報ラジオ番組「中山秀征のジャパリズム」で「自然の宝庫、森を歩こう！」をタイトルに放送。  
(4月30日、5月1日)
- ▶ 田名部大臣政務官が自身の体験も交えながら解説。

中山秀征の  
**JAPAN RHYTHM** ~ジャパリズム~



## (実績) ダイヤモンドトレールサミット

- ▶ 5月14日、大阪、奈良、和歌山を結ぶ約45キロの登山道を活性化させるため、3府県の10市町村の首長らによるサミットが開催。
- ▶ 「ダイトレを歩こう！！」と題した記念イベントには山ガールや橋下知事も参加。





2011・国際森林年

# (実績) 国際森林年記念切手

- ▶ 5月20日、国土緑化・国際森林年記念切手が発売。
- ▶ 国連UNFFの呼びかけに応じ、世界的な記念切手発行の動きとも連携。
- ▶ 全国植樹祭開催地の和歌山県の代表的な樹木とセットのデザイン。



英国



フィンランド



フランス



## (実施中) 全国植樹祭・全国育樹祭

- ▶ 5月22日に和歌山県で第62回全国植樹祭を開催。
- ▶ 11月20日に奈良県で第35回全国育樹祭を開催。
- ▶ 国際森林年子ども大使「葉っぱのフレディ」の参加など、国際森林年関連展示や国際交流活動を計画中。



全国植樹祭  
(和歌山)



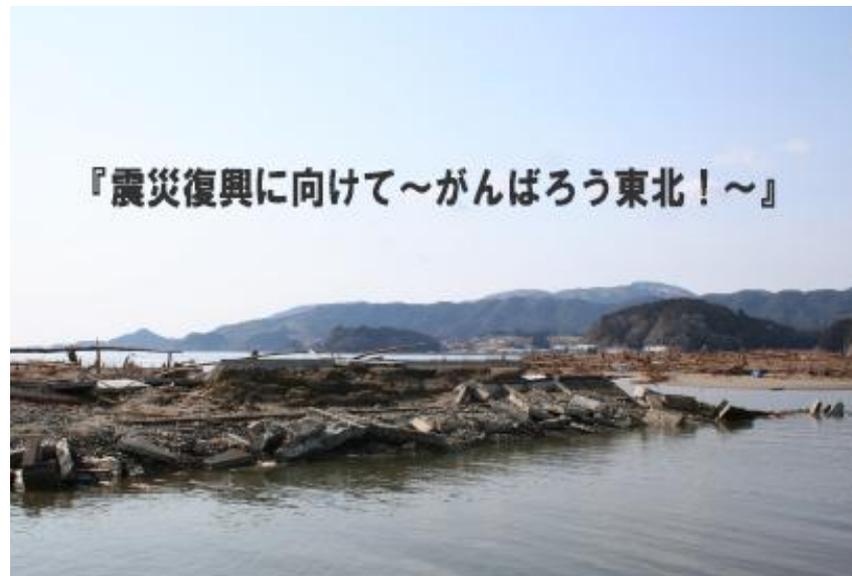
全国育樹祭  
(奈良)



2011・国際森林年

# (実績) 震災復興支援シンポジウム

- ▶ 5月22日、国連大学において「森は海の恋人」の畠山重篤氏を基調講演に迎え、震災復興支援シンポジウムを開催。
- ▶ 森里海の連環、森づくりの循環や生物多様性の観点から震災復興と地域の再生を討論。
- ▶ 当日は皇太子殿下も行啓し、シンポジウムを聴講。



『震災復興に向けて～がんばろう東北！～』

5/22  
日曜日

## 震災復興支援シンポジウム

-国連生物多様性の10年と国際森林年を踏まえて-

会場：国連大学 ウ・タント国際会議場(浪谷区)

日時：2011年5月22日(日)・(国際生物多様性の日)

13:30-17:00(13:00開場) 日英同時通訳あり

入場無料  
復興支援のため、  
善行へのご協力を  
お願いいたします

今回の震災・津波で大きな被害を受けられた東北地方の方々に心からお見舞い申し上げます。不屈の精神で既に復興に向けた歩みを進められている東北地方の方々を応援するために、本シンポジウムを開催します。

気仙沼で森と海の連環に取り組みでいられているNPO法人「森は海の恋人」の畠山さんもその一人です。畠山さんをお招きして、森・里・海の連環、森づくりの循環、生物多様性、農林漁業の振興など多様な観点から震災復興と地域の再生を議論します。

### 【シンポジウムプログラム】

#### ○基調講演

演題：『震災復興に向けて～森と海の連環～』

講師：畠山 重篤氏(NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学社会連携教授)

#### ○パネルディスカッション(敬称略)

コーディネーター：武内 和彦 (国連大学副学長、日本造園学会会長)

パネリスト：畠山 重篤(NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学社会連携教授)

スリランカ・ヘラート(国連大学サステイナビリティと平和研究所(UNU-IHP)学術審議官、田中 寛(京都大学名誉教授)

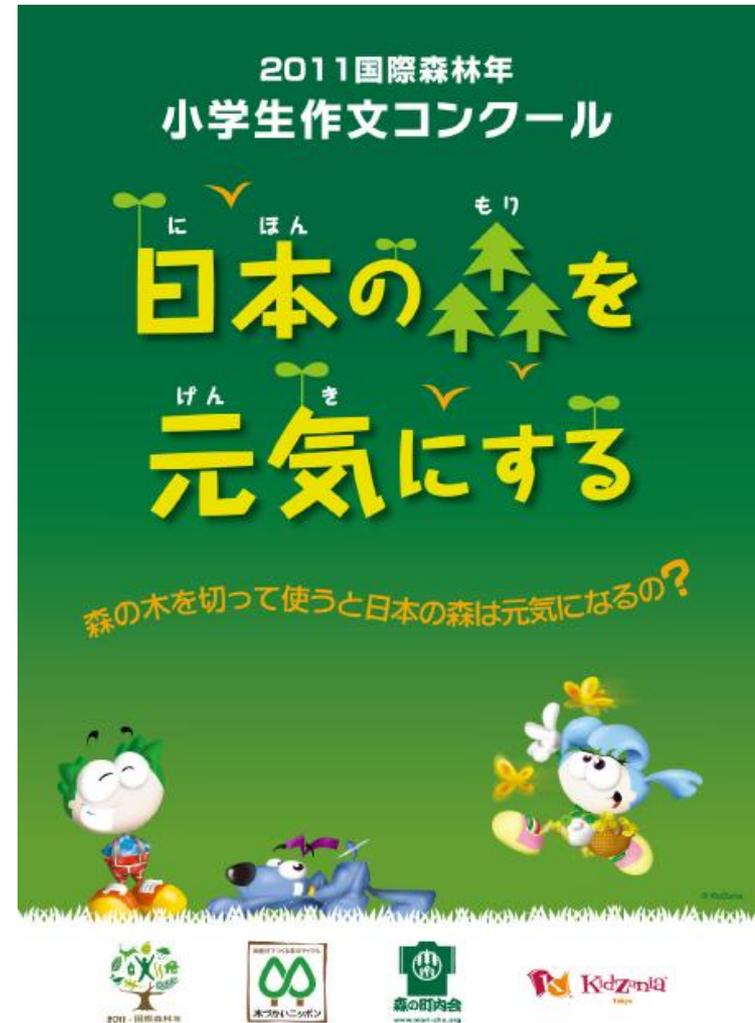
東松 広行(林野庁林政部長)、橋本 牧(水産庁漁港漁場整備部長)、渡邊 綱男(環境省自然環境局長)



# (実績) 小学生作文コンクール (森の町内会＋キッズニア東京)



- ▶ 小学生に、日本の森を元気にするためにはどうしたらいいかを考えてもらう、作文コンクールを実施。
- ▶ 最優秀賞者は岩手県での林業体験に招待、優秀賞者はキッズニア東京に招待。
- ▶ 6月2日(木)に表彰式を開催。





2011・国際森林年

## 計画・検討中の取組

# (予定) 森林総研の公開講演会 「日本の森を活かそう！」



2011・国際森林年

- ▶ 6月12日、東京大学安田講堂において森林総研による公開講演会を開催。
- ▶ 記念講演は佐々木毅氏による「日本政治と森林」
- ▶ 国際森林年のサブテーマに沿って、最近の動向と最新の研究成果を紹介。

平成23年度 独立行政法人 森林総合研究所 公開講演会

## 日本の森を活かそう！

**開催日時**  
平成23年 **6/12日**  
13時00分～17時15分

**開催場所**：東京大学安田講堂  
(東京都港区本郷7丁目3-1)

**参加費**：無料 (事前申込不要)

**記念講演**  
日本政治と森林  
～国際森林年に際して～

佐々木 毅氏  
(社)国土緑化推進機構理事、  
第27代東京大学総長

**講演**  
「連携とイノベーションで日本の森を活かす」  
日本の森を活かすために、今、何が必要で、何をなすべきか！  
最近の動向、新しい研究成果、さまざまな取り組みを紹介します。

**パネル・ディスカッション**  
講演者にパネラーも加えてのパネル・ディスカッションでは、「日本の森を活かす」ための討議を行います。明日の日本の森をどのように活かすのか、森林(もり)の明日の姿を参加者全員で描いてみましょう！

東京大学安田講堂 (東京大学正門正面)  
地下鉄丸の内線「東大前」徒歩1分  
地下鉄丸の内線「本郷三丁目」徒歩10分  
地下鉄丸の内線「本郷三丁目」徒歩10分  
地下鉄千代田線「湯島」徒歩10分  
地下鉄千代田線「湯島」徒歩10分

後援：森林・木材・環境アカデミー、日本森林学会、一般社団法人 日本木材学会、財団法人 林学会、日本農林文化センター

問い合わせ先  
独立行政法人森林総合研究所 企画部研究情報広報係  
〒306-8537 茨城県つくば市砂の丘1番地  
TEL : 029-829-8134 FAX : 029-873-0844  
E-mail: kouho@ffpri.affrc.go.jp URL: http://www.ffpri.affrc.go.jp/

2011・国際森林年 **FFPRI**

※リサイクルマークの表示：紙・ペーパー・リサイクル可

# (実施中) エコ・ファースト推進協議会 による「エコとわざコンクール」



2011・国際森林年

- ▶ 6月～8月、森に関わることわざを小中学生から募集し、審査・表彰。
- ▶ 環境トッパー企業が集まりである「エコ・ファースト推進協議会」の取組。
- ▶ 表彰式は国際森林年記念事業との連動も検討。





2011・国際森林年

# (予定) 海岸林を考える

- ▶ 東日本大震災で失われた海岸林の役割と再生について各層の関心が高まっているところ。
- ▶ 6月22日、木材会館(新木場)で日本海岸林学会主催のシンポジウムが開催。
- ▶ 震災後4ヶ月の7月11日には公益財団法人オイスカが国際シンポジウムを開催。

東日本大震災では、津波により太平洋岸の広範囲の海岸林に大きな被害が生じました。

これら海岸林は、古くから、砂防防風防風、潮害防備などの防災を担ってきており、今回の津波に対しても、海岸林が津波の勢いを和らげ、漂流物を捕捉するなどの一定の効果が確認されています。また、海岸林の多くは、地域の生活に密着に関わりながら、地域の方々により維持管理されてきました。

今回の震災を契機として、海岸林の重要性を再認識し、その機能の再生のあり方について考えるシンポジウムを開催します。

## 海岸林を考える

国際森林年記念シンポジウム

〜東日本大震災からの復旧・復興に向けて〜

平成23年6月22日(水)  
13:30~16:15 (受付開始13:00)

木材会館 定員300名  
参加費無料

● 話題提供

- ・海岸林のはたらき  
古崎嘉司(東京大学大学院教授、日本海岸林学会副会長)
- ・津波による海岸林の被害と評価  
坂本知巳(森林総合研究所及東宮・防災林研究室)
- ・被災地からの報告〜高田緑原での取組〜  
佐々木裕男(高田緑原を守る会)
- ・庄内海岸林の保全活動  
三沢英一(庄内緑の自然に親しむ会会長)
- ・海岸林の再生に向けて  
井上晋(林野庁山嶽山地災害対策室長)

● パネルディスカッション

- ・コーディネーター  
林田光雄(山形大学教授、日本海岸林学会副会長)
- ・パネリスト  
大田緑原(東京大学名誉教授)  
古崎嘉司 坂本知巳 佐々木裕男  
三沢英一 井上晋

〒114-8501 東京都品川区  
〒114-8501 東京都品川区

公益財団法人  
**オイスカ**

国際森林年記念事業

### 東北にもう一度、 白砂青松を取り戻したい

海岸林を再生するために私たちに何ができるか

**2011年7月11日(月) 17:30~20:30** 申込・無料

東京 千駄ヶ谷「津田ホール」3階 日英同時通訳

日本では、海岸の緑の美しい景観を「白砂青松」と呼び、古くから大切に守ってきました。美しい白砂青松は、防風、防風、防風など多くの機能が備わった海岸林が、東日本大震災により1/2,000以上失われました。しかし、木を植える状況になるまでには、また、木を植える前に、植えるには、相当の年月が必要で、オイスカとしては、震災直後より緑の再生をはじめる関係機関と協働し、植栽の調査も行って参りました。今回のシンポジウムでは、上述と並んで、この調査結果などにより、現状を多くの方々に知って頂くことと、あるため海岸林の持つ機能を認識し、何れへの方策を共有したいと考えています。また、海岸林は自然再生の存在です。そして今年国際森林年でもあります。この復興のプロセスを海岸林の再生にも活用し、一緒に行動したいと考えます。



# (予定) 「木を植えた男」 フレデリック・バック展



2011・国際森林年

- ▶ 7月2日(土)～10月2日(日)、東京都現代美術館において、フレデリック・バックの企画展示が開催。
- ▶ 「木を植えた男」を含め、アカデミー賞を2度受賞したアニメーション作家であり、展示はスタジオ・ジブリが企画協力。

L'Homme qui Plantait des Arbres  
フレデリックバック展

木を植えた男。

2011. 7.2 (土)～10.2 (日)  
東京都現代美術館 MO+  
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO

〒135-0092 東京都江東区三好4-1-1 www.mot-art-museum.jp

開館時間: 午前10時～午後6時 (入場は開館の30分前まで)  
休館日: 月曜日 (ただし7月18日、8月15日・22日・29日、9月19日・26日は開館、7月19日(火)は休館)  
観覧料 (税込): 大人: 大卒まで ¥1,200円 中学生・900円 小学生・600円 小学生未満は無料 (小学生未満は100円増)  
年間券: 03-5777-8900 (フリーダイヤル) / 03-5246-4111 (東京本部受付専用)

主催: 公益財団法人 国際森林年推進委員会 東京都現代美術館 日本テレビ放送網 アニメーション  
企画制作協力: スタジオジブリ (主催の森づくり展覧会)  
制作協力: アニメーション制作スタジオ (協力: Studio Ghibli, Studio Trigger, Studio Bones, 1/2345, カガヤ)  
協賛: ケンペイの美術館 (協賛: 東京府立美術館、東京府立美術館、TOKYO FM / tvk)  
会場: 東京都現代美術館  
協賛: EPSON / フォト・ディスプレイ / ショッピング / 東京トラベル / 日本橋三越本店 / 文化放送  
www.ntv.co.jp / frederickback

# (予定) 森を守ろうチャリティコンサート

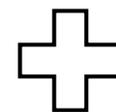
- ▶ 国際森林年を記念する「森を守ろうチャリティコンサート」の開催を予定。
- ▶ 収益は国土緑化推進機構への寄付。

日時：7月12日(火)夕刻

演奏：読売日本交響楽団、宮本笑里(バイオリン)

場所：浜離宮朝日ホール

## 読売新聞



## 朝日新聞



指揮：円光寺雅彦  
バイオリン：宮本笑里



## (予定) 市民と森林をつなぐ国際森林年の集い

- ▶ 夏頃、地方団体と連携したシンポジウムを全国7箇所で開催(例:7月17日、岡山県真庭市)。
- ▶ 映画「森聞き」でも紹介された「森の名人」の知恵や技術を次世代に伝承。
- ▶ 東北地方では震災復興の要素を加えて実施。
- ▶ 「国際森林年推進事業」の取組の一つ。



# (予定) いきものにぎわい企業活動 コンテスト



2011・国際森林年

- ▶ 国内外での生物多様性の保全、持続的な利用について、企業、組合等の活動を募集・顕彰するコンテスト(応募締め切り:7月20日)。
- ▶ 本年は国際森林年特別部門を設け、森林の再生・活用等、森づくりに関する特色ある活動を顕彰する。

第2回  
いきものにぎわい  
企業活動コンテスト

企業の生物多様性保全等実践活動顕彰  
—— 募集 ——

企業の生物多様性保全のための実践活動をみんなに知って欲しい日  
企業が、その社員や家族、あるいは地域社会や市民団体等と一緒に  
取り組んでいる、森づくり、里地型山の保全・再生、源流や干流の保全、  
サングラムの再生、河川・湖沼の保全・再生といった  
豊かな生物多様性の保全や持続的な利用等の  
実践的な活動を広く募集します。

主催：いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会  
協賛：国土緑化推進機構 / (株) 国土緑化推進機構 / (株) JBAプロダクト協会 / 地球環境行動会議 (GEA) / 水と緑の持続性推進機構  
後援：環境省 農林水産省  
協力：(株) コーナン (コーナンの森) / (株) 環境ジャパン環境財団 / 公益財団法人フェイス・グリーン・ファンダ

# (予定) 「学校林・遊々の森」 全国子どもサミットin信州



2011・国際森林年

- ▶ 「学校林」「遊々の森」での学習・体験活動を広げていくため、8月4日～5日に長野県松本市で開催。
- ▶ 子どもたちの森林での活動の発表、先生方による意見交換会などを行い、その内容を全国の小学校に情報発信。
- ▶ 国際森林年を記念して、海外での植樹活動のパネル展示なども実施予定。

広めよう！森林づくりの大切さの輪を全国へ！

2011・国際森林年

国際森林年記念イベント開催

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin信州

平成23年  
8/4 木 13:00~  
~5 金 12:00~

場所 浅間温泉文化センター  
〒390-0303 長野県松本市浅間温泉2丁目6番1号

主催：「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin信州 実行委員会  
 構成：林野庁、中部森林管理局、(財)オイスカ、(社)国土緑化推進機構、長野県  
 (財)長野県緑の基金、長野県教育委員会、松本市教育委員会  
 (財)日本森林林業振興会長野支部、(社)全国森林レクリエーション協会長野支部  
 NPO法人やまぼうし自然学校  
 後援(申請予定)：文部科学省、各種連携機関 他

●サミットの主なプログラム●

1日目 8月4日(木)  
海外からの林業研修生を囲んでの  
交流会  
「学校林・遊々の森における活動」や  
「森づくりの夢」の発表会  
ゲーム&自然の恵みを使った工作など  
自然を使った遊びを楽しもう！  
先生方等による意見交換会

2日目 8月5日(金)  
標高2,000メートルの美ヶ原高原において、  
貴重な動植物の観察(自然散策)

松本城(国指定)

2011年は「国際森林年」です。

## (予定) 二科展でのポスター展示

- ▶ 「二科展」デザイン部ポスター部門で、国際森林年をテーマとした公募展を実施。
- ▶ 8月31日～9月12日の六本木・国立新美術館を皮切りに、全国の巡回展で展示。
- ▶ 受賞したポスターは、その他の国際森林年イベントでの活用も検討。

